



おがたっ子



《めざす子ども像》
「元気に登校，笑顔で下校」
おもいやる子
がんばる子
たのしい子

【緒方小・緒方中 共通教育目標】 未来に向かって 生きる力を備えた 緒方っ子の育成

5月版 文責：佐藤 公彦 TEL0974-42-3150 Fax0974-24-4020

G I G A スクール構想 進めています

昨年度、^{キガ}GIGAスクール構想*の前倒しにより、1人1台の端末、通信環境の整備が実現しました。豊後大野市ではiPad（アイパッド）を導入し、このタブレットを「GONちゃん」と名付けています。「Gadget Of Nexus」（つながった気のきいた小道具）の頭文字をとったものです。人とのつながりを大切にした教育を推進していくための道具として、鉛筆やノートなどの文房具と同様に教育現場にとっても不可欠なものになっています。

緒方小は豊後大野市教育委員会からGIGAスクール構想推進校の指定を受け、先駆けとなる研究を進めています。先般5月10日には大分県議会文教警察委員会の皆さんが本校の取り組みの視察に訪れました。

初めてGONちゃんと学習する1年生は、先生の話をよく聞いて、起動方法やキャラクターの猫を指定の場所まで動かすプログラミングに挑戦しました。「うわあすごい！」「うごいてる！」と歓声があがっていました。

*GIGAスクール構想…1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる環境を実現する。これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教員・児童生徒の力を最大限に引き出す。



「地域とともにある学校づくり」をめざして

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革，地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。学校と地域がパートナーとして取り組みを進めていくためには「地域でどのような子どもを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが大切です。そのような場や仕組みとなるのがコミュニティ・スクール（学校運営協議会）です。



5/17小中合同チューリップ球根掘り

緒方町の学校運営協議会は「みずぐるまの会」といいます。教職員・保護者代表，支所長，自治委員長，公民館長等がメンバーになります。4月27日に今年度の総会が開催され、「未来に向かって 生きる力を備えた 緒方っ子の育成」を目標とする基本方針や具体的な取り組みが話し合われました。

登下校時の見守り，児童へのあいさつ・あたたかい声かけ，学習支援等への協力を今後ともよろしくお願いいたします。